

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成30年												平成31年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~6日	1月 ~13日	1月 ~20日	1月 ~27日	2月 ~3日	2月 ~10日	2月 ~17日	2月 ~24日	3月 ~3日	3月 ~10日	3月 ~17日	3月 ~24日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	5	18	21	12	12	12	15	7	22	17	0 (14)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	11	30	27	17	23	24	20	14	14	10	10 (14)	16
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	0	3	2	0	0	0	2	1	0	4	4	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	2	4	3	1	3	3	0	3	3	3	4	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	3	7	6	6	4	5	2	5	6	1	3 (4)	4
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	1	0	0	1	0	0	1
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	5	9	7	2	4	8	6	5	0	3	3	3

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 広島県感染症発生動向週報

平成31年第12週(3月18日~3月24日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4			1		2	1	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	2	A型肝炎	1					1		
		レジオネラ症	1					1		
五類全数	14	アメーバ赤痢	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2						2	
		急性脳炎	2					1	1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		梅毒	3					2		1
		百日咳	2							2
		風しん	1					1		
麻しん	1			1						

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町  
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第12週 3/18~3/24)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

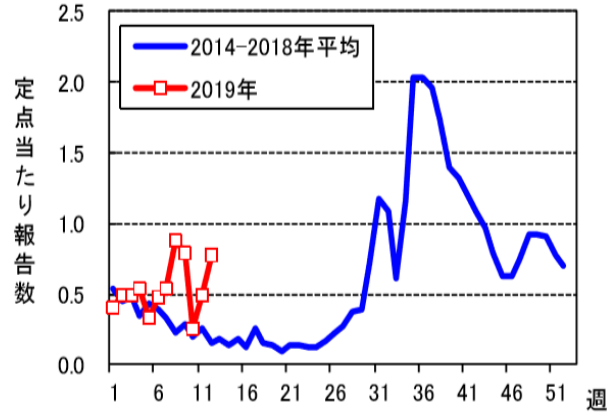
1. RSウイルス感染症

定点当たり0.78人の報告があり、例年同時期と比べて多くなっています。  
RSウイルス感染症の症状は、軽いかぜのような症状から細気管支炎や肺炎などの重篤な症状までさまざまです。特に、生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、感染を避けるための注意が必要です。手洗いや咳エチケットの励行、おもちゃや手すりなどはこまめに消毒するなど感染予防対策を心がけましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり6.22人の報告がありました。ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生も1件報告されています。手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

RSウイルス感染症の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィレン	インフルエンザ	105	2.92	6.74			小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.45		
小児科	咽頭結膜熱	5	0.22	0.43			眼科	RSウイルス感染症	18	0.78	0.16		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	2.09	2.42				急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	143	6.22	7.73				流行性角結膜炎	2	0.25	0.43		
	水痘	2	0.09	0.43			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	1	0.04	0.18				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	伝染性紅斑	7	0.30	0.13				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03		
	突発性発しん	11	0.48	0.22				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	-	-	0.04				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	1.60		

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇔ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	41	女性(80歳代)、女性(90歳代)
4	A型肝炎	1	4	女性(80歳代)・市外
4	レジオネラ症	1	4	男性(60歳代)
5	アメーバ赤痢	1	1	男性(30歳代)
5	急性脳炎	1	7	女性(10歳未満)
5	後天性免疫不全症候群	1	2	男性(20歳代)・感染者
5	梅毒	2	17	女性(30歳代)、男性(50歳代)
5	風しん	1	7	男性(20歳代)・推定感染地域: 国外

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(37.0) 咽頭炎 頭痛 関節痛	45	男	2019/02/12	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0) 咽頭炎 鼻炎	6	男	2019/02/12	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.0) 鼻炎	1	女	2019/02/13	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	発熱(40.6) 血便 下痢 腹痛	4	女	2019/02/13	糞便	Campylobacter jejuni
その他の呼吸器疾患	発熱(39.2) 気管支炎 嘔気	7	男	2019/02/16	鼻汁	ヒトコロナウイルスNL63

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載